

# 村の第一部

——連續製作——

新庄 よしこ

製作したものを机の上にならべて置く、又は箱庭式に砂箱に配置する、折々はこんな事を致して居りますがもつと場面を廣げて見度いとかねく思つて居りました。是は作り上げたものを眺めるといふだけに止らず幼児が其の中にはいつて動き度い、例へば電車を作つて置いて見るだけではなく、作つた電車を走らせて身分が電車になりすまして走つてゐる時が多うございます。場面の狭いものですと、この走り度い動き度い心が十分に満足出來ず眺めるだけでは物足らないといふ氣持が見えますので殆んど室の三分の一を使つて村の或

一部としました。子供が停車場から歩いて動物を見に行く事が自由に出來るだけの道幅をとつたわけでございます。

この組の室が特に狭いので幼児用机椅子で一ぱいといふ有様ですがその爲に製作したものを思ふ様に並べる事も出來ないのは餘りなさけないと存じましてさしあたり要らない道具を物置にしまつてしばらく狭い所がまんする事にしました。

動物（粘土及キビガラ）

粘土が柔かいので二三日前からかたまりのまゝ棚にのせておいたので見る度に作り度いつくり

度いと云つて居ましたので粘土を手にするや大變な意氣ごみで動物をと私が申しましたのでめい／＼キリン、馬、猿、河馬、猫、虎、龜等、

が出来上りました。見せ度いと思つても玩具の動物では生きては居ず結局かういふものを作る時は何にも見せない方がいゝものが出来ます。

キリンの首がどうもうまくいかない、馬の胴は出来ても立つ事が出来ないで困つて居ますので、首のしんにキビガラを、四足にも利用しましたので馬も立ちキリンの首もいゝあんばいにくつついたわけでございます。

河馬の様なのはキビガラで足をつけても胴が重くて立ちませんからかういふのは、ねころんでゐる事にしませうと申したので子供も満足してゐました。

垣根、家の門、(粘土、キビガラ)

キビガラを一寸五分位に切つて粘土にさしてならべて動物のかこひに。

少しながめにして家の垣根に。

停車場及び車庫、ブリツヂ、(木工)

停車場及び車庫は以前に作ったもの、ブリツヂはこの爲に特につくりました。

汽車(黒のラシヤ紙二枚合せのもの)

一人が一箱づゝつくつてつなぎ合せたもの、この汽車は日々子供が好きなた方に引つぱつて行くので位置がいつも變つて居ります。

汽車も木で出来たら好きな方に引つぱつて行つてもいびつにならないでございゝ事せう。

畑、

都會にすむ子でも畑だけはよく知つてゐます。あせ道は粘土にキビガラをごく短く切つてならべたもの、

砂場から砂を運んで畑にしました。粘土でんじん、蕪、大根、あいも、とうなす等が出来てめい／＼にならべてゐました。

家、動物の家、自働車、(茶ボール)

完成迄に約二週間かかりましたが殆んどこの間の村の爲に製作がつゞいたわけでございます。

あとから思ひついて山案子やお地藏様が出来たと云つて置きに行く子、自分のつくつた河馬に餌をやりに行く子もございます。